



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年10月28日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3316 URL <https://www.tcs-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉丸 弘二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐藤 浩之 (TEL) 03-3280-2711
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,909	△4.9	199	52.7	200	51.9	135	99.8
2022年3月期第2四半期	3,058	△8.0	130	40.4	131	40.1	67	7.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	21.56		—					
2022年3月期第2四半期	10.80		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,163	3,717	72.0
2022年3月期	5,914	3,666	62.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,717百万円 2022年3月期 3,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	11.8	600	37.6	603	31.4	404	37.5	64.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	6,300,000株	2022年3月期	6,300,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	10,215株	2022年3月期	15,015株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	6,287,045株	2022年3月期2Q	6,283,587株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は受けながらも、行動制限の緩和やウィズコロナの新たな段階への移行が進められ、経済社会活動が正常化に向かいました。一方でウクライナ情勢の長期化や、急激な円安の進行など懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況は続いております。

当社の属するIT業界におきましては、ニューノーマルの定着に伴う働き方改革への対応に加え、企業の競争力強化や業務プロセス再構築など、ビジネスモデル変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)へのシステム投資が一層その存在感を強めております。一方、サイバー攻撃の急増に伴うセキュリティ対策など、予測不能な危機への対策需要も増加しております。

当社は、このような事業環境の中、経営理念である「お客様に最大のご満足を」を実現するため、「お客様の未来を考えビジネスを共創するICTソリューション企業」を企業ビジョンと定め、顧客企業の課題解決を図るため、「お客様の立場に立って理解を深めます」「お客様の信頼を獲得し、一番に選ばれる企業を目指します」「お客様に安心で最適なICTプラットフォームを提供します」「従業員、パートナーにとって魅力ある企業を目指します」を行動指針とし、マネージドサービスカンパニーとして顧客の持続的成長を支援するベストパートナーを目指し、営業品質を向上させることにより顧客との関係強化に努めてまいりました。また、人材の育成に注力するとともに、新たなパートナーとの協業強化に努め、「TCSマネージド・プラットフォーム・サービスの提供」と「デジタルマーケティング」を基本戦略とした営業活動を行ってまいりました。

当社が提供する「TCSマネージド・プラットフォーム・サービス」は、ロイヤリティの高い顧客に対し、従来のTCSマネージドサービスを拡張し、パブリッククラウドへの対応技術を高め、安心して利用できるハイブリッドインフラ環境の提供を行うとともに、ICTインフラだけでなく、アプリケーション開発や運用保守を含めた、ビジネスプラットフォーム全体を提供するサービスとして展開してまいりました。また、全国に存在する顧客ニーズに対し、便利さやお得感を提供するソリューションであるITte(イッテ)を提供するため、デジタルマーケティングを推進してまいりました。

当社では、長期化する新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策として、顧客及び従業員の安全配慮を引き続き徹底するとともに、テレワークなどの働き方の変革が従業員にもたらす影響にも留意してまいりました。

当第2四半期累計期間におきましては、顧客のIT投資が活発となってきた中、基本戦略を軸として営業活動を行った結果、受注高が伸長し、当社の事業戦略であるTCSマネージド・プラットフォーム・サービス事業も堅調に推移いたしました。しかしながらハードウェアのビジネスが低調であったことから、減収増益となりました。

この結果、当社の当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,909百万円(前年同四半期比149百万円減、4.9%減)、営業利益199百万円(前年同四半期比68百万円増)52.7%増、経常利益200百万円(前年同四半期比68百万円増、51.9%増)、四半期純利益135百万円(前年同四半期比67百万円増、99.8%増)となりました。

また、受注状況につきましては、受注高は3,679百万円(前年同四半期は3,082百万円)、受注残高は1,185百万円(前年同四半期は889百万円、前事業年度末は414百万円)となりました。

なお、当社は「情報システム関連事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末の総資産は5,163百万円となり、前事業年度末に比べ750百万円減少しております。これは、主に棚卸資産が88百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が当第2四半期累計期間における売上高の減少及び前事業年度末における売掛金残高の回収等により746百万円減少及び有形固定資産、無形固定資産が減価償却費の計上等により59百万円減少したことによるものであります。負債については1,446百万円となり、前事業年度末に比べ800百万円減少しております。これは、主に売上高減少に伴う仕入債務の減少等により、買掛金が700百万円減少したことによるものであります。純資産については3,717百万円となり、前事業年度末に比べ50百万円増加しております。これは、四半期純利益の計上が135百万円ありましたが、配当金の支払いが94百万円あったことにより、利益剰余金が38百万円増加及びその他有価証券評価差額金が6百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ21百万円増加し、3,162百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は101百万円(前年同四半期は158百万円の収入)となりました。これは、主に税引前四半期純利益が200百万円、減価償却費の計上が103百万円、売上高の減少や売上債権の回収に伴う売上債権の減少が749百万円ありましたが、棚卸資産の増加88百万円、仕入債務の支払による減少700百万円及び法人税等の支払79百万円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により得られた資金は14百万円(前年同四半期は33百万円の支出)となりました。これは、主にマネージドサービス案件に伴う投資等により有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が52百万円ありましたが、敷金の回収による収入が67百万円あったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は94百万円(前年同四半期は81百万円の支出)となりました。これは、配当金の支払による支出が94百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

顧客のIT投資に対する動向は見通し難い状況ではありますが、現時点では、2022年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,140,662	3,162,611
受取手形、売掛金及び契約資産	1,680,963	934,818
電子記録債権	3,658	429
商品	10,916	93,372
仕掛品	18,612	24,432
貯蔵品	144	118
その他	263,547	274,677
貸倒引当金	△169	△93
流動資産合計	5,118,336	4,490,367
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	44,985	42,953
工具、器具及び備品(純額)	412,046	350,506
建設仮勘定	91	5,587
有形固定資産合計	457,123	399,048
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	116,094	125,754
その他	225,574	153,044
貸倒引当金	△20,036	△20,036
投資その他の資産合計	321,632	258,762
固定資産合計	795,737	673,366
資産合計	5,914,074	5,163,734
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,173,667	473,532
未払法人税等	92,347	75,567
賞与引当金	82,560	73,920
その他	541,053	451,488
流動負債合計	1,889,629	1,074,508
固定負債		
退職給付引当金	346,744	361,049
その他	10,900	10,900
固定負債合計	357,644	371,949
負債合計	2,247,273	1,446,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	2,317,236	2,356,155
自己株式	△13,665	△8,811
株主資本合計	3,618,550	3,662,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,249	54,953
評価・換算差額等合計	48,249	54,953
純資産合計	3,666,800	3,717,277
負債純資産合計	5,914,074	5,163,734

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,058,210	2,909,047
売上原価	2,510,656	2,298,303
売上総利益	547,554	610,743
販売費及び一般管理費	416,961	411,352
営業利益	130,593	199,391
営業外収益		
受取利息	27	24
受取配当金	766	555
その他	436	264
営業外収益合計	1,230	844
経常利益	131,824	200,235
特別損失		
減損損失	31,233	—
固定資産除売却損	45	0
特別損失合計	31,278	0
税引前四半期純利益	100,545	200,235
法人税、住民税及び事業税	40,759	63,492
法人税等調整額	△8,061	1,200
法人税等合計	32,697	64,693
四半期純利益	67,848	135,542

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	100,545	200,235
減価償却費	118,590	103,669
減損損失	31,233	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△104	△76
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,920	△8,640
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,545	14,304
受取利息及び受取配当金	△793	△580
売上債権の増減額 (△は増加)	862,287	749,374
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△104,790	△88,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	△703,674	△700,135
固定資産除売却損益 (△は益)	45	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,362	△1,460
その他	△117,772	△88,906
小計	195,554	179,533
利息及び配当金の受取額	793	583
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△37,927	△79,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,420	101,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,045	△51,009
無形固定資産の取得による支出	△5,277	△1,852
敷金の回収による収入	—	67,580
その他	179	184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,143	14,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△81,871	△94,022
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,871	△94,022
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	43,404	21,949
現金及び現金同等物の期首残高	2,496,941	3,140,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,540,346	3,162,611

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、情報システム関連事業を主要な事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。